

## 研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p>＜研究課題名＞</p> <p>定量病理イメージング解析システムを用いた悪性腫瘍および炎症性疾患における病理組織学的多様性の検討</p>
<p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 血液・腫瘍内科 研究責任者：高橋 宏通</p>
<p>＜研究期間＞</p> <p>機関の長の初回許可日                      ～                      令和 13（西暦 2031）年 3 月 31 日</p>
<p>＜対象となる方＞</p> <p>2001 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日の間に、日本大学医学部附属板橋病院において、悪性腫瘍（造血器腫瘍、固形癌等）または良性の炎症性疾患（リウマチ・膠原病、炎症性腸疾患、間質性肺炎等）の診断・治療を受けられた方。</p>
<p>＜研究の目的＞</p> <p>悪性腫瘍の治療において、腫瘍細胞だけでなく周囲の免疫細胞などの「腫瘍微小環境」が治療効果や予後に深く関わっていることが分かってきました。本研究の目的は、次世代の解析機器「Mantra2」を用いて、これら微小環境の状態を詳しく数値化し、悪性腫瘍と良性の炎症性疾患における免疫応答の違いを明らかにすることです。これにより、個々の患者さんに最適な治療法を選択するための指標（バイオマーカー）の開発や、新しい治療戦略の構築に役立てることを目指しています。</p>
<p>＜研究の方法＞</p> <p>過去の診療録（カルテ）から臨床データを収集するとともに、保存されている病理検体（組織切片）を用いて多重免疫染色および画像解析を行います。得られたデータを用いて、病変部位における細胞の密度や位置関係が治療効果や予後にどのような影響を与えるかを統計学的に解析します。</p>
<p>＜研究に用いる試料・情報の項目＞</p> <p>臨床データ：診断時年齢、性別、身長、体重、血液・尿検査結果、画像診断結果（CT、MRI、PET-CT 等）、治療内容（使用薬剤、放射線照射線量等）、経過および予後。</p> <p>試料：保存されている病理検体。</p>
<p>＜外部への試料・情報の提供の方法＞</p> <p>解析はすべて当院内で行います。研究に用いる情報や試料が外部（企業等）へ提供されたり、持ち出されたりすることはありません。</p>
<p>＜研究を実施する機関組織＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院：血液・腫瘍内科、リウマチ・膠原病内科、呼吸器内科、消化器肝臓内科、放射線治療科、臨床検査医学科、病理診断科。</p>

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院 血液・腫瘍内科

氏名：高橋 宏通

住所：〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

電話：03-3972-8111（内線 2403）

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方